

浜岡原子力発電所 2号機 タービン建屋における放射性物質を含まない
水の漏えいについて(続報)

2011年4月14日

■今回お知らせする内容

<p>調査結果</p>	<p>当社は、これまで2号機タービン建屋3階(放射線管理区域外)に設置している常用冷凍機[*]の冷却水配管と薬液注入系小口径配管との接続部付近で発生した放射性物質を含まない水の漏えい事象の原因調査をおこなってきました。</p> <p>その結果、当該小口径配管接続継ぎ手部に貫通穴(高さ約2mm、幅約4mm)を確認しました。</p> <p>貫通穴は小口径配管と接続継ぎ手部の内面のわずかな隙間(約2mm)に薬液が停滞したことにより、継ぎ手(炭素鋼)内面に腐食が発生し漏えいしたと推定しました。</p>
<p>対策</p>	<p>今後、継ぎ手部の材質を炭素鋼から耐腐食性に優れたステンレス鋼へ取り替えます。</p>

■これまでにお知らせした内容

(2010年9月28日公表)

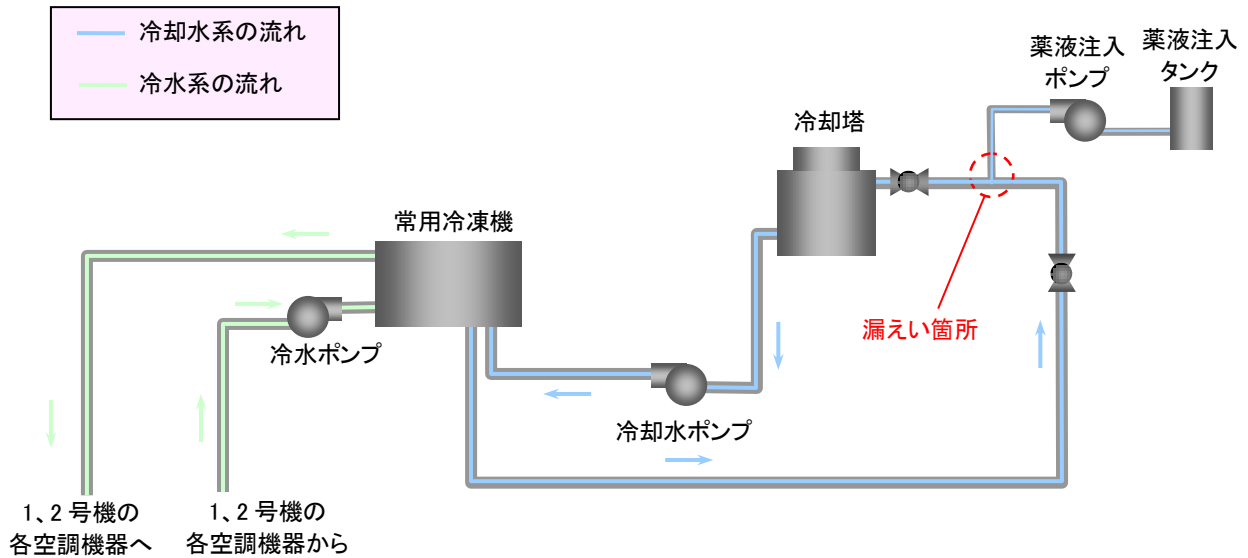
<p>発生場所</p>	<p>2号機(廃止措置中(第1段階)) タービン建屋3階(放射線管理区域外)</p>
<p>発生年月日</p>	<p>2010年9月28日</p>
<p>発生時の状況</p>	<p>2010年9月28日午前10時35分に、協力会社社員の方が2号機タービン建屋2階(放射線管理区域内)の床面にわずかな漏えい水を確認しました。</p> <p>ただちに、当社社員が現場を確認したところ、同階天井付近から滴下していることを確認したため、漏えい箇所を調査したところ、その上階であるタービン建屋3階(放射線管理区域外)常用冷凍機室で漏えい水を確認しました。</p> <p>漏えい箇所は、常用冷凍機室に設置している1号機常用冷凍機(B)の冷却水配管と薬液注入系の小口径配管との接続部付近でした。</p> <p>漏えい水に放射性物質は含まれていません。</p> <p>漏えい範囲は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タービン建屋2階(放射線管理区域内) 約30cm×約50cm×約1mm(漏えい量約0.15リットル) ・タービン建屋3階(放射線管理区域外) 約10m×約10m×約1cm(漏えい量約1,000リットル)
<p>対応・原因</p>	<p>ただちに、1号機常用冷凍機(B)を停止するとともに、冷却水配管の弁を閉止し、漏えい箇所を隔離しました。</p> <p>今後、漏えいが発生した原因を調査します。</p> <p>また、漏えい水については、適切に処理を行います。</p>

放射能の影響	本事象は、放射性物質の漏えいに関わる事象ではありません。
お知らせ基準	運転情報「表 2-11 建屋内において放射性物質を含まない水の漏えいを発見したとき(但し、100 リットル程度に至らない漏えいを除く)。」に該当します。

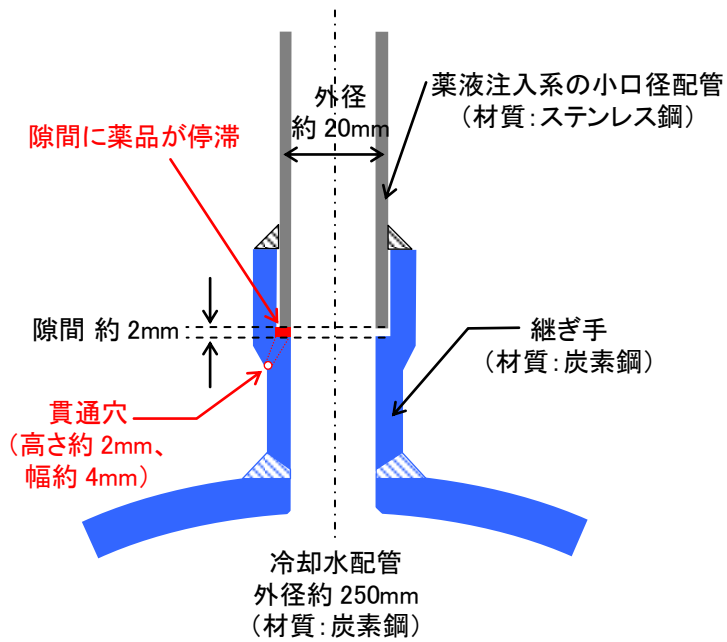
- ※ 常用冷凍機とは、空調機器に供給する冷水温度を一定に制御するための設備です。冷凍機内には冷媒が充填されており、冷却水により冷媒を冷却しています。
常用冷凍機は、1、2号機共有で6台あり、気温に応じて2～4台の常用冷凍機を運転しています。

以 上

常用冷凍機の概略図



調査結果の概要図



漏えい発生時の写真



漏えい箇所
(配管接合部付近から漏えい)